



# すとるべりー通信

NO. 16

NPO 法人 KHJ とちぎベリー会 (平成22年 1月24日発行)

<http://www.geocities.jp/berikait/>

## 11月の月例会報告

臨床心理士の山岡祥子先生による発達障害についての勉強会でした

先生はアスペルガー症候群と診断されたお嬢さんのことを知るために発達障害について勉強を始められたと言うことです。「アスペルガー症候群とはこだわりが強く、例えば熱が38度あっても学校を休まない」と体験を交えて分かり易くお話しをされました。

1. 先ず対応は理解から。理解しないと関わりが上手く出来ない。
2. 発達障害を持っている人は感覚、考え方、感じ方が私達と全然違う。
3. 発達障害はADHD、LD、広汎性発達障害(殆ど自閉症)、精神遅滞の4つ
3. 広汎性発達障害はそれ1つでなくADHD、LDを併せ持つ子が多い
4. 一般人(定型発達)も自閉症傾向がある。自閉症スペクトラムとは連続帯のこと  
カナ型(言葉の遅れ有、知的障害有)の人まで繋がっている。だから症状が同じ  
ところと違うところがあり本当に自閉症なのか、定型に近いほど分かりづらい。
5. 発達障害は脳の機能障害(生まれつき)。しかし養育環境によってその後の適応が違  
う(二次障害がでることがある)
6. 本人は子供の頃から困り感を抱え、自分は他の人と何処か違う。何で自分だけ出来  
ない。一度にしゃべられると話が分からない。友達がいない。周囲に合わせると疲  
れる。自分は変わっていると感じている。
7. ADHDは不注意優位型、多動・衝動優位型、混合型がある。多動・衝動優位型は  
脳の前頭葉の発達により、成長するとちよろちよろは止まるが脳の機能障害のため  
手先等(鉛筆まわし、貧乏ゆすり、多弁)に残っていく。得意なところを生かして  
いけば良い。不注意優位型は忘れ物が多い、窓際のとつとちゃんとか、話聞してい  
るようで聞いてない。大人になっても片付けられない、物をよく失くす等残る。A  
DHDだけの人はとても人が良い、典型はフーテンの寅さん。  
人の気持ちが分からない。何か関わりにくいと言うのが加わるとADHDだけでなく  
広汎性発達障害(自閉)が入っている。
8. 診断としてのLDは読む、書く、算数能力の障害
9. 広汎性発達障害のWingの三つ組とは①社会性の障害、②コミュニケーションの  
障害、③想像性の障害(こだわり、興味の限定)
10. ①.社会性の障害とは社会常識が低く、浮いた存在、男女比5:1 人との関わり  
方が一方的でマイペース、場にふさわしい行動が取れない、暗黙のルールが分から  
ない、共感できない、相手の感情に気付けない・考慮しない、社会常識・マナーが  
身につけていない、友達が出来ない・作ろうと思っていない。しかし常識にとらわれ

ず自由な発想が出来、皆が無視するルールでも守る、年齢や身分で判断しない公平さ、  
友達を裏切らない誠実さ、思いを貫く強さ、人に流されない等を持ち合わせるが一般  
でない振舞が続くので敬遠され特別扱いされる。周りにはあの人は変わり者と思  
い本人は失礼の基準を教えて等と思っている。

② コミュニケーションの障害とは、コミュニケーションが出来ているようで出来ない。  
話の内容、量、詳細さの判断がつきにくい。立場によって言葉を変えられない。パター  
的な言い回し、偏った話題。一人で一方的に話し続ける等、だが素直で正直、表裏が  
無い。興味のあることにはどんどん発言する。独特の感じ方をし、他人にはない感  
性を持っている。ダジャレが得意。言葉を正確に使いたいと思っている等、周りは  
どうも話が通じないと思ひ、本人は自分の気持ちは理解されないと  
思っている。

③ 想像性の障害(こだわり、興味の限定)とは何事も型どおり、融通がきかない。  
見通しが持てないとイライラ・不安。いつもの予測どおりでない嫌がる。新しい  
ことには手を出さない。考え、気持ちの切替が苦手。生活パターンを守りたがり、  
崩れると混乱。機械的配置が得意。予定が崩れると良い変更でも嫌がる。決まり  
をかたくなに守り、例外、間違いを許せない。興味関心が偏り特定の  
ことしか楽しめない。状況に応じた結果予測や危険を察知することが  
苦手等。だが一定の作業を綿密にこなせる。好きなことには集中力を  
発揮。知識力が旺盛で調べたり覚えたりが好き。反復作業、単純作業を  
厭わない。見通しが立っていると安心して実力を発揮する。自分だけの  
空想の世界で楽しみ、リフレッシュできる等がある。周りは融通の利か  
ない人と思ひ、本人は自分は間違っていないと思っている。この他に  
聴覚、視覚、嗅覚、味覚、触覚等の感覚が過敏、体温調節、運動が  
苦手。睡眠障害等がある。

これらが非難を浴び、誤解が続き、回りに理解されないと失敗を繰り返  
し、本来は特性だったものが性格に変化を起し心因性の症状となり不登校、  
引きこもり、自尊心の低下、暴言、暴力、非行、抑うつ症状、強迫性障  
害、不安・恐怖症状等の二次障害が起る。

### 1 1. 広汎性発達障害者への対応 援助の3本柱

①環境調整 ⑤.本人への支援 ③.関連機関との調整

・先ずは家族が障害の正しい理解をして支援する。文化の違うロシアの  
山中に1人でいるようなものと先生は表現された。心の病になるのは理  
解と支援が不足した時。

### 1 2. 社会性の障害への対応

・ルールやマナーをマニュアルで学ぶ。起きている事象を翻訳して伝  
える。人と共にいる心地よさの体験。付き合いの幅を無理に広げない。  
ソーシャルスキルを教える。セルフコントロールを教える。世の中の常  
識を伝える。相手の興味へ関心を持つ。理解者を増やす。一方的な  
してもらうから双方向の関係、道具的な関係から情緒的な関係など  
二者関係から積上げる。

### 1 3. コミュニケーション障害への対応

話し言葉の理解(水準を知る)。表情身振りへの注目・活用の必要性を  
伝える。曖昧な指示・冗談・皮肉の読み取りを求めすぎない。肯定的な  
表現を使う。コミュニケーションは便利、楽しい、求められていると  
気付かせ、教えてください、分かりません、助けてください、どう  
すれば良いですかなど意思表示できるようにする。(成功体験を増やす)

14. 想像性の障害（こだわり、興味の限定）への対応  
 こだわりと戦わず活用する。見通しのある生活（予告する）。ファンタジーへの没頭は時間を区切る。不安・怒りなど行動の切替（セルフコントロール）。
15. 感覚過敏性への対応は脳の特性に起因することを忘れない。感覚過敏は辛いと理解。感覚異常への耐性は加齢、状況によって変化
16. その他、英国自閉症会の提唱するアプローチ
  - ①構造化と視覚化…課題、指示。時間。ルール of 明確化が見て直ぐ分かる。
  - ②肯定的アプローチ…その場で直ぐほめる。だめ→しましょう。近くで穏かに、静かな口調で
  - ③共感…同情ではない、ありのままの受入
  - ④低刺激…関わる人の言動、火に油を注ぐ引き金になる言葉を言わない
  - ⑤連携…関連機関との密な情報交換
17. 大切な自己理解 自分の得意なこと、苦手なことの特性を知る。無理に自分を変えるのではなく調整する

以上大まかな点をお伝えしましたが、発達障害に限らず当てはまることばかりでした。引きこもりが二次障害というところは注目点です。

### 全国引きこもり家族会～支援者代表交流会・研修会：全代研 仙台大会報告

平成21年11月7～8日仙台市民会館において開催され、齋藤、吉成、岩永の3人の役員が参加しました。7日は厚生労働省引きこもり関連施策チームで厚生労働省社会・援護局総務課課長坂本耕一さんのご挨拶。参議院議員で心療内科医師の桜井充さんの「引きこもり問題を解決するために」と題した基調講演。引きこもり外来精神科医中垣内正和さん、長新田の森クリニック院長児玉隆治さん、日福大名誉教授竹中哲夫さん、精神科医原敬造さん、わたげ福祉会理事長秋田敦子さん、ポランの広場藤田健さん、韓国東南病院院長呂寅仲さんによる「法制化や国の施策を如何に血の通ったものとするのか？」と題したシンポジウムでした。

8日は全体討議と7つの分科会討議でした。

全国引きこもりKHJ親の会本部理事長奥山雅久さんから「引きこもりは生活機能障害へ」と題して問題提起がありました。

その概要は、引きこもりには様々な困難な面が多く、いわゆる大人組みに至る長期重篤な引きこもりには、当事者の「生活の質」において生活機能障害に陥ってしまっており、その機能障害が彼らの社会参加や自活力を阻害してしまっております。

当事者はそこからの脱却が難しく、これに関わる当該家族はもとより専門家や支援者、中間施設、医療等の充実が緊急の課題として待望されており、取分け長期重篤なケースは福祉をも視野に入れる必要があります。

国の引きこもりへの諸施策に「家族会」としても「官民協働のネットワークに積極的に参画」してゆき、「血の通った施策」となるよう当該関係者ならではの一層の連携共有、研鑽のステップアップが大切です。

さらに当事者や家族自身が始まりだした施策に「何としても繋がり事態の転換を図ってゆく主体的な覚悟が必須」となってきました。と提言しました。

### ※初めて全国大会に参加した青年からの報告

仙台大会に参加して

まず、会場に出向き、全国各地からご家族の方や関係者の方、さらには議員の方も集まっているのを肌で感じ、今まで頭では分かっていたのですが、改めて引きこもりで悩んでいる方々がたくさんいるのだと実感しました。講演の中で印象に残っている事としては、表面上の問題（不登校なら学校へ行かせる、ひきこもりの場合なら外に出させる、仕事に就かせる）だけを解決しても根源を解決しないことには何にもならない、そのためにはやはり家族の協力が不可欠だと思い知らされました。

自分自身に置きかえてみて、現在、以前より元気に回復しているのも、今思うと家族の支えがあったからなのだな、と思いつけたりもします。

仙台大会の2日間、苦手だった懇親会や二次会に参加して色々な人と交流を持つことができ、私にとって、とても貴重な経験になりました。ゆっくりでも良いから、落ち込んで立ち止まらず一歩ずつ進んでいきたい、そんな気持ちにさせられる2日間でした。

彰一

### ♪ベリー会入会のご案内♪～

☆利用会員 全ての催しに参加できます

入会金 1000円 年会費 2000円

初めてご参加の方は月例会々場で入会手続きが出来ます

☆会の運営に参加する正会員、会の支援を行う賛助会員も受け付けています。詳しくはお尋ね下さい。

#### ☆初参加者相談コーナー

月例会へ初めて参加された方のための相談コーナーです。  
 齋藤支援相談員・楡木・宇賀神・村上・吉成・野村・濱島・下山の各訪問カウンセラーが対応いたします。

#### ☆個別相談

十分に話しを聞いて欲しい、定期的に続けたいという方に個別に対応いたします。  
 初回無料、次回より60分3000円 事前に電話にてお申込下さい。090-4247-2829  
 日本カウンセリング学会認定カウンセラー齋藤がお受けいたします。

#### ☆足利の居場所

毎月第一日曜日開催 参加費 500円  
 担当 齋藤 090-8319-3812

#### 次回月例会

2月14日（第2日曜日） とちぎ福祉プラザ 2F 第一研修室  
 午後1時15分受付（開会1時30分） 会員 800円 非会員 1000円  
 内容 グループミーティング 「ひきこもり？なぜ？」  
 （内容は都合により変更することもあります。ご了承下さい）